

ミツバチ科学研究施設から

ミツバチ科学研究施設

図書・論文・資料リスト (1999)

図書

佐々木正己 (著). ニホンミツバチ北限の *Apis cerana*. 海遊舎. 191 pp.

佐々木正己 (分担執筆). 環境昆虫学. 東京大学出版会. pp. 408-418.

佐々木正己 (分担執筆). 擬態. 築地書館. pp. 62-73.

学術論文・記事

Matsuka, M. Present beekeeping and related activities in Japan. *Asian Bee Journal* 1(1): 1-4.

Matsuka, M. Bee products in Japan. *Farming Japan* 33(3): 23-27.

Wongsiri, S. and M. Matsuka. Tropical apiculture and organizations. *Farming Japan* 33(3): 28-31.

榎本ひとみ・松香光夫 (翻訳) 薬剤としてのプロポリス (C. Mateescu). *ミツバチ科学* 20(2): 53-63.

Nakamura, J. Problems of beekeeping in Asia. *Farming Japan* 33(3): 15-17.

中村 純. インターネットのミツバチ (その4~5). *ミツバチ科学* 20(1): 39-42, 20(2): 89-92.

小林由平・中村 純. ミツバチの巣板利用特性から見た巣枠の形状—趣味養蜂の普及に向けて—. *ミツバチ科学* 20(1): 27-32.

Nakamura, J., H. Osawa and M. Matsuka. Utilization of propolis resources by honeybee, *Apis mellifera*. *Proc. 35th Int. Apicul. Congr.* 308-311.

新島恵子. テントウムシの飼育. 農業総監「害虫防除」資料編 第11巻. 農文協.

Ono, M. Mutualism and the humble bumble. *Mountain Heritage Magazine* 2(1): 29-31.

小野正人. マルハナバチの飼育方法 素晴らしい生物資源をどう活かすか. *インセクトリウム* 36(11): 4-8.

浅田真一・鈴木 誠・奥村 一・矢吹駿一・小野正人. 日本産マルハナバチの室内飼育に関する研究 第1報オオマルハナバチ女王蜂の低温処理による室内継代飼育. 神奈川県農業総合研究所研究報告 139: 7-12.

Sasaki, M. Ecological characteristics of Asiatic hive bee and its possibility as apicultural species. *Farming Japan* 33(3): 18-22.

Boecking, O., P. Rosenkranz and M. Sasaki. The pore in the hard conical *Apis cerana* drone capping results from a spinning process. *Apidologie* 30: 513-519.

佐々木正己. 昆虫行動の可塑性をささげる記憶と学習. *昆虫と自然* 34(1): 2-3.

佐々木正己. ミツバチにみる記憶・学習能力とその特性. *昆虫と自然* 34(1): 14-17.

佐々木正己. ミツバチ情報伝達システムの多様性. *ミツバチ科学* 20(3): 119-126.

Yoshida, T. Bees and beekeeping in Asia. *Farming Japan* 33(3): 10-14.

その他の記事

松香光夫. ミツバチの贈り物 ハチミツ. 薔薇 85: 8-9.

松香光夫. ミツバチの贈り物 アピセラピー (再). 薔薇 86:

8-9.

松香光夫. 第36回 APIMONDIA 国際養蜂会議バンクーバー大会. *PRA Quarterly* 2(4): 4-5.

松香光夫. 東洋医学に対する新しい流れ. *PRA Quarterly* 2(1): 12.

松香光夫 (文責). ブラジルにプロポリスを訪ねて. *ミツバチ科学* 20(1): 33-38.

中村 純, 大澤華代. 第1巻~第20巻総目録 (総目次・総索引・一覧). *ミツバチ科学* 20(4): 157-188.

小野正人. マルハナバチの情報化学物質の研究—サイモンフレーザー大学との共同研究—. 全人教育. 607: 32-37.

小野正人. 「井上民二」を振り返る. (Terra Incognita 未知なる大地をめざして—追悼井上民二). 井上民二追悼集刊行委員会. pp. 414-418.

吉田忠晴. 研究所だより 玉川大学ミツバチ科学研究施設. 畜産技術 562: 19-20.

吉田忠晴. 第13回国際社会性昆虫学会議に参加して. *ミツバチ科学* 20(1): 43-45.

吉田忠晴. 「ミツバチ科学」発行20巻を振り返って. *ミツバチ科学* 20(4): 145-156.

学術・一般発表 (口頭・ポスター発表, 依頼講演)

Matsuka, M., J. Nakamura, M. Ezawa and T. Fujimoto. Propolis characterization by HPLC and UV absorbency. *Apimondia 1999* (Vancouver).

松香光夫. 花粉とミツバチと私たちの健康. 日本花粉学会 (名城大学).

松香光夫・藤本琢憲・中村 純. 紫外部吸収スペクトルとHPLCからみた中南米産プロポリスの多様性. 日本代替医療学会 (横浜).

松香光夫. 花粉媒介昆虫の概説・ポリネーターの利用. 神奈川県農業総合研究所・野菜技術研究会 (平塚).

松香光夫. ミツバチの作りだす栄養物質. NHK文化センター講演 (東京).

Nakamura, J. and M. Matsuka. *Asian beekeeping journals. Apimondia 1999* (Vancouver).

中村 純. バロア病 (ミツバチヘギタダニ症). 第127回日本獣医学会 (麻布大学).

中村 純. 蜜蜂の飼養と疾病対策. 農林水産省家畜衛生講習会 基本講習会. (農林水産省家畜衛生試験場).

中村 純. ミツバチの作りだす栄養物質. NHK文化センター講演 (大阪).

徳野純也・新島恵子. 日本産クサカゲロウの天敵資材としての適応性. 第9回天敵利用研究会 (福岡).

小野正人. お喋りなハチ達—その意味を生態学に求め解読は化学に任せる. 進化学研究会 (東京大学).

小野正人. 生物資源としてのマルハナバチ—その農業への利用と生態系の保全. 玉川大学夏期教育教養講座 (環境教育) (玉川大学).

小野正人. マルハナバチの生態と農業への利用. 上海農業科学院 (中国, 上海市).

Ono, M. Management of Japanese native bumblebees (*Bombus* spp.). *Apimondia 1999* (Vancouver).

佐々木正己. ミツバチの社会行動と脳の役割. 文部省科研費特定領域研究主催の公開シンポジウム (福岡).

佐々木正己. マルハナバチのサーカディアンリズムとその極地での生態学的適応. 昆虫ワークショップ基調講演 (逗子).

佐々木正己. スイカへのミツバチの正しい使い方. 千葉県農業大学校主催の研究会 (千葉).

佐々木正己. ミツバチの社会行動における記憶・学習の役割. 第46回日本昆虫学会九州支部大会特別講演 (佐賀大学).

吉田忠晴. ミツバチ女王蜂と雄蜂の交尾行動及びミツバチの病害虫について. 佐賀県畜産課主催平成10年度養ほう講習会 (佐賀).

吉田忠晴. ミツバチ科学概論. '99早稲田塾大学体感カリキュラム (玉川大学).

吉田忠晴. ミツバチの配偶行動. 平成11年度バイオサイエンスセミナー (名古屋大学).

第43回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨 (琉球大学)

高橋純一・中村純. セイヨウミツバチの女王の交尾回数は雄によって操作されている? p. 111.

新島恵子. ヤマトクサカゲロウの日本産と外国産の交配実験. p. 104.

小野正人・K. Slessor・R. Dobrescu・M. Winston. 同所性カナダ産マルハナバチ *Bombus (Pyrobombus) spp.* 3種の生殖隔離機構. p. 111.

浅井明子・佐々木正己. ミツバチのダンスは本当に情報として聞く者に伝わっているのか?—フォロアーの燃料蜜積量からの一解析—. p. 109.

原野健一・佐々木正己. ミツバチの巣仲間学習とそれによる巣仲間認識機構. p. 110.

市川直子・佐々木正己. ミツバチの記憶・学習能力における加齢に伴う発達と幼若ホルモンの影響. p. 110.

北村啓之・佐々木正己. ミツバチの巣仲間認識指標としての体表炭化水素の動態. p. 109.

吉田忠晴・中村純・高橋純一・干場英弘. セイヨウミツバチ女王蜂とニホンミツバチ雄蜂の異種間交尾. p. 110.

雑誌・パンフレットなどの掲載

アテナ通信「サヴァ」Vol. 32. ローヤルゼリーとプロポリス. アテナ化粧品. 掲載: 松香光夫.

日経ヘルス 2 (4). 天然の抗生物質「プロポリス」が効く. 掲載: 松香光夫.

元気生活 No. 55. 神秘と魅力がいっぱい! ミツバチからの贈り物総特集. 掲載: 松香光夫.

みつばちだより Vol. 50. みつばち童話絵本コンクール. 山田養蜂場. 掲載: 松香光夫.

みつばちだより Vol. 51. Apimondia '99. 山田養蜂場. 掲載: 松香光夫.

アピセラビー (冊子). プロポリス研究者協会. 掲載: 松香光夫.

小学1年生10月号. ミツバチにんぼうハチダンゴ. 小学館. 掲載: 小野正人.

“解体新書” Report No. 216. ニホンミツバチの不思議を探る. リアルタイム. 掲載: 佐々木正己.

現役高校生の情報誌 ストレーツ 76号. 玉川大学ミツバチ科学研究施設. 早稲田塾. 掲載: 吉田忠晴, 中村純.

大学体感カリキュラム白書1999. 3.7-11.27. 玉川大学・学術研究所編 1999.5.22. 「ミツバチ科学概論」. 早稲田塾. 掲載: 吉田忠晴.

アニマライフ 第1号. 必殺! ふとん蒸し作戦. インタープレス. 掲載: 吉田忠晴.

テレビ・ラジオ出演

NHK (教育). 「発想ミュージアム化学の巻」紙一記録と伝達の主人公. 6月9日放送. 出演: 小野正人.

日本テレビ. 「信じられない衝撃映像99連発99年夏祭り」スズメバチの生態. 7月18日放送. 出演: 小野正人.

TBS. 「はなまるマーケット」スズメバチの生態. 7月21日放送. 出演: 小野正人.

テレビ朝日. 「たけしの万物創世記」ハチからの贈り物. 8月24日放送. 出演, 監修: 吉田忠晴.

フジテレビ. 「とくダネ! 特捜部」スズメバチ. 9月8日放送. 出演: 小野正人.

OHK 岡山放送. 「みつばちからの贈り物」9月15日放送. 出演: 松香光夫.

NHK (新潟). 「新潟ニュース」チャイロスズメバチの生態. 9月29日放送. 出演: 小野正人.

日本テレビ. 「スーパープラス1」スズメバチの生態. 9月29日放送. 出演: 小野正人.

フジテレビ. 「スーパーニュース」スズメバチの生態. 10月8日放送. 出演: 小野正人.

テレビ朝日. 「スーパーモーニング」スズメバチの生態. 10月25日放送. 出演: 小野正人.

TBS. 「筑紫哲也ニュース23」スズメバチの生態. 10月28日放送. コメント: 小野正人.

新聞掲載

読売新聞・2月18日. 昆虫社会に目向け. 掲載: 玉川大学農学部昆虫学研究室.

読売新聞・3月28日. 追悼抄 虫に学び生きる. 掲載: 岡田一次.

読売新聞・5月24日. パノラマ生命科学館 性能自慢 ハチの高層住宅. 掲載: 小野正人.

読売新聞・7月24日. パノラマ生命科学館 必殺技はふとん蒸し. 掲載: 小野正人.

朝日新聞・7月28日. ニホンミツバチ 都会で増殖中. 掲載: 佐々木正己.

サンパウロ新聞・7月29日. プロポリス夏季セミナー. 掲載: 松香光夫.

読売新聞・7月30日. 夏・人・虫物語 受粉にハチ利用の功罪. 掲載: 小野正人.

ニュース

Thomas D. Seeley 教授来日

コーネル大学の Thomas D. Seeley 教授を招聘して, 1月16日の第22回ミツバチ科学研究会, 翌17日の学術研究所講演会「ミツバチの社会生理学」(第2回国際社会性昆虫学会日本地区会シンポジウム)で講演していただいた. また静岡県でイチゴポリネーションを見学, 兵庫県では養蜂講習会(1月19日)でも講演(次号にミツバチ科学研究会での講演内容および滞在記を掲載予定).

編集後記

今号は, 花粉媒介特集として, ミツバチが農作物の花粉媒介に重要な位置を占めるアメリカ事情と, 日本のマルハナバチ事情について計3記事を掲載. 日本でのミツバチの貢献についてもぜひ掲載したかった. (純)